

ふまとう

122号

発行 令和3年1月1日
年月日

発行 社会福祉法人岩手県社会福祉事業団
救護施設 松山荘
〒027-0037
岩手県宮古市松山8-19-1
☎0193(62)7921
発行責任者 施設長 山根三夫



作品展示会


11月に利用者の作品展示と松山荘の昔の写真のスライド上映会が行われました。



目次	
表紙	展示会の様子
2ページ	日中活動の紹介
3ページ	行事の紹介
4ページ	生活介護事業所「そら」紹介

- グループ内事業所
- ・松山荘（救護施設） 定員100人
 - ・保護施設通所事業「さぼーと」 定員9人
 - ・共同生活事業所「ちふな」 定員28人
 - ・生活介護事業所「そら」 定員20人
 - ・相談支援事業所「まつやま」

松山荘のホームページQRコードです。
施設の案内や行事の様子を掲載しています。
是非ご覧ください。



(1) 花輪保育所園児による作品もお借りし鑑賞させていただきました。

生活介護事業所「そら」

生活介護事業所「そら」は平成23年12月1日に開所した、障がいをお持ちの方の日中活動の場を提供する施設です。

介護を必要とする利用者への支援の提供、充実した日中活動の場の提供、他の利用者や地域住民との交流の場の提供を運営方針に掲げて取り組んでいます。

日中活動の様子を写真で紹介します。



生け花

生け花の様子です。
とても綺麗に生けられています。

野菜栽培

丹精込めて育てた野菜がたくさん取れました！



創作活動

切り絵の作品です。個性豊かな力作揃いです。



(佐々木)

編集後記
新型コロナウイルス
対策に追われた1年で
した。
来年はコロナウイ
ルスが終息をむかえたら
いいなと心から願って
います。

岩手県社会福祉事業団 経営理念

岩手県社会福祉事業団は、ご利用のお客様の人間の尊厳の保持を旨として、お客様の立場に立った質の高いサービスを提供するとともに、地域福祉を推進し、全ての人が相互に人格と個性を尊重し、支えあいながら、その人らしく共に生きる豊かな社会の実現に貢献します。

行事の紹介

今年は、新型コロナウイルス等の感染症予防の観点から、昨年と同様の行事を行うことができず、中止になった行事もありました。

その中で、密にならないよう工夫をし、夏祭り、公用車での外出、表紙で取り上げた利用者の作品展示及び昔の写真をスライドで映す上映会、忘年会等の行事を行いました。

例年に比べて行事の数は少なかったですが、例年とは違う形での行事の開催となり、創意工夫を凝らした行事内容に利用者のみなさんも非日常の特別な時間を楽しまれました。



夏祭り

8月に行われた夏祭りでは、密にならないよう会場を分けて、ヨーヨーすくい、射的、玉入れ、わたあめ、かき氷等の提供が行われました。



公用車外出

今年度、公用車外出は3回行われました。

「シートピアなあと」では海の景色や、ソフトクリーム等を楽しまれました。



日中活動の紹介

今年には新型コロナウイルスの観点から、一カ所に全員が集まって活動することが難しく、男子棟と混合棟で分かれて活動することとなりました。

利用者の平均年齢が67.2歳と高齢化が進む中で、運動量を増やし、機能の回復、減退の防止を行っていく必要があることから、業務改善活動で日中活動の見直しを行いました。

新たな取り組みとして、歩行訓練、ストレッチ体操、室内でのグラウンドゴルフ、卓球バレー、風船バレー等を取り入れました。利用者の皆さんも楽しんで日中活動に参加されています。

スカットボール



グラウンドゴルフ



卓球バレー



6人対6人で行う競技です。卓球台の周りに座り、ピンポン玉を回します。自分の所に来た球をどこに返すか瞬時に判断する必要があり、瞬発力や判断力の強化を楽しみながら行えます。

ボールを打つ際に足腰がしっかりしていないとボールを打つことができません。そのため、足腰の強化につながります。また、作戦を立てたり、力加減を見極めたりと頭を使うスポーツです。

歩行運動

風船バレー



風船を落とさないように、布を上下に動かします。反応力の強化や、腕の上下の運動を楽しみながら行えます。



利用者の皆さんに一番人気のある、屋外での歩行運動です。